

## 読者アンケート

春号はいかがでしたか?四季誌和装家は読者の皆さまが参加する情報誌です。  
ご希望、アイデアをお寄せいただくだけでなく、ぜひその企画を実現するために参加していただきたいと思ひます。

### Q1 今号で面白かった(興味深かった)記事は? (複数選択可、 にチェックしてください)

- |  |   |
|--|---|
| <input type="checkbox"/> 4 公式メルマガレビュー                  | <input type="checkbox"/> 20 俺の履歴書             |
| <input type="checkbox"/> 6 和装家写真館「大阪きものべっぴんさん物語」       | <input type="checkbox"/> 21 NPOから寄付のお願いと寄付のお礼 |
| <input type="checkbox"/> 8 和装家に聞く「久志本京子さん」             | <input type="checkbox"/> 22 大活躍!きもの世界遺産アンバサダー |
| <input type="checkbox"/> 12 和装家に聞くスペシャル「人間国宝・大倉源次郎さん」  | <input type="checkbox"/> 24 きもの、世界遺産への道 その1   |
| <input type="checkbox"/> 16 和装家に聞く「WAKATOMO会会長・日置敬子さん」 | <input type="checkbox"/> 25 四季誌和装家で広告してみませんか? |
| <input type="checkbox"/> 18 アオザイ便利「ジャパンベトナムフェスティバル取材記」 | <input type="checkbox"/> 裏表紙 関西万博、きもので集おう     |

### Q2 四季誌・和装家への意見、注文、応援コメント

### 応募方法

まず、このページに  
記入してから、  
右記のいずれかの方法で

- 方法①** スマホで写真を撮って公式LINEに送信する
- 方法②** スマホ写真を [info@omotenashi.or.jp](mailto:info@omotenashi.or.jp) に送信する
- 方法③** **03-3661-0007** にファクスする
- 方法④** 応募専用フォーマットを作りました。スマホで入力&応募ができます。  
<https://form.run/@shikishiwassouka> 右のQRコードもご利用ください。



|         |         |
|---------|---------|
| ご住所 〒 - |         |
| お名前     | 連絡先     |
|         | メールアドレス |

四季誌

# 和装家

次号「夏号」vol.9は、7月1日に発行。  
みなさまのお手元には、7月5日ごろ到着予定です。

### 読者からのお便り紹介

## Readers Voice

どなたかもコメントなさっていましたが、写真はいつも同じ方が写っていらっしや、偏りが気になります。もう少し工夫すべきではと思います。(成田市・関さん)

そうですね。和装家が3,500人を超えているわけですから、もっとたくさんの方の着姿を紹介したいと常々思っています。みなさん、ぜひ美しい着姿の写真をお送りください。自薦大歓迎です。どんどん掲載させていただきます。なお、別の方から、口頭でNPOの会員企業で、たくさんのお買い物をした人が優先して掲載されるのでは?との声もいただきましたが、私は和装家のみなさんがどこで、どれだけお買物をされたか編集部ではまったく知りません。

いつも素敵に着物姿の方々が写っていて、読むのが楽しみです。(横浜市・中さん)

お着物を着て、皆さんでお出かけは、目を引くことでしょう。素敵です。(大和郡山市・尾川さん)

ミュージカル観劇大好きな和装家のひとりです。橋本聖子さんのお母様のエピソードは、ミュージカルレミゼラブルのワンシーンと重なります。ジャンバルジャンが生まれ変わるきっかけになっています。観劇には必ず着物を着て行きます。経済力のあるアメリカが自国第一主義などと品のないことを言っていますが、和装家が是非ビジネスマナーなど品位を大切にしたいです。(つくば市・増田さん)

毎回、楽しみに見せていただいています。いろんなイベントに参加したいと思いながら、参加できる機会がなく、残念な想いを感じています。(岡崎市・岩月さん)

〈編集部から訂正とお詫び〉

前号四季誌和装家21ページ「寄付者のみなさまへのお礼」の中でお名前の表示に不行き届きとミスがありました。ここで訂正し、お詫びします。なお、お名前は記事中と同じく敬称略とさせていただきます。

ふきえひろみ → 笛木弘美

## 手段が目的になっていないか?な?

四季誌和装家は今号で8回目の発行になります。ちょうど季節がふた回りしました。デジタル情報が溢れかえる時代、わずか28ページの情報誌が3年目を迎えるのは、極めて大袈裟に言えば「奇跡」です。広告出稿というカタチで発行を支えていただいた正会員、賛助会員様、そして読者の皆さま、お礼申し上げます。

3年目を迎えるにあたって、ちょっとカタい話にお付き合いください。いわゆる、そもそも論です。よく仕事の際、手段が目的になっていないか?が問題になります。ある目的を実現す

るために手段を選択したはずなのに、その手段自体が目的になってしまうことです。つまり、私たちNPOの目的は、これはNPOのネーミングそのままなのですが「きものを世界遺産に」にすることです。四季誌和装家もそのためにあるので、発行は手段で目的ではありません。この部分をいつも頭に置いて、編集や取材を続けていきます。皆さま、どうぞよろしくお願ひします。

四季誌和装家編集長(NPO理事) 佐藤正樹



昨年、文化庁の後援を得てNPOで開催した「親子ゆかた着付け教室」。今年も開催予定です。

編集後記